



【経営者向け事業継続(BC)プログラム】 3時間×5回シリーズ

経営者として、これから目まぐるしく事業環境が変化する荒波の中で経営していくうえで、災害対策や防災だけではなく真の事業継続(BC)の視点を取り入れて、事業継続力を身につけ、今よりもさらに骨太経営に進化していくための体験型のプログラムです。

- 対象: 企業・団体の経営者
- 定員: 50名まで
- 日時: ご相談
- 場所: ご相談
- 費用: ご相談
- 内容:

講義だけでなく、真の事業継続(BC)に必要な要素である現状認識と将来のビジョン、ビジネスインパクト分析、戦略、計画、改善についてグループワークをしつつ事業環境の変化に強い事業継続(BC)を理解を深めます。

【1回あたり研修時間: 3時間】

1. 経営者として事業継続(BC)として押さえるポイント解説
2. シナリオプランニングに基づく方針、目指すゴールの設定
3. ビジネスインパクト分析に基づく戦略構築
4. シミュレーションを通じた事業継続計画の作成
5. シミュレーションを通じた課題整理、対応能力の検証



一般財団法人危機管理教育&演習センター

経営者向け 事業継続(BC) プログラム

期待される 成果と目標

災害対策や防災と誤解しているBCP(事業継続計画)を経営戦略として理解することで骨太経営に進化できます。

自社の脆弱性が認識でき事業環境の変化に強い事業継続(BC)を理解できます。

一般財団法人
危機管理教育&演習センター

東京都中央区
日本橋小網町10-2
日本橋フジビル(地下1階)
TEL 03(6365)0281
hosotsubo@cm-eec.net

www.cm-eec.net

プログラムの詳細内容

1. 経営者として事業継続(BC)として押さえるポイント解説:

目的: 学びeducation (エジュケーション)

災害対策や防災視点の現状の事業継続(BC)の基礎的概念から現状の課題を含め、真のビジネスを継続を進めるために経営者として目指すべき取り組みについて解説します。

2. シナリオプランニングに基づく方針、目指すゴールの設定:

目的: 確認training (トレーニング)

今後、30年先に起こり得る良いこと、悪いことを様々、考え、自社はどのような道で進んでいくのかを確認し、どんな将来にしていきたいのか目指すゴールを検討します。

3. ビジネスインパクト分析に基づく戦略構築:

目的: 確認training (トレーニング)

業務が中断し続けたことによるビジネス影響を確認することで、優先順位をつけ、どのよう継続すればよいかを考え、かつ、どのような状況においても実行できるように複数検討します。

4. シミュレーションを通じた事業継続計画の作成:

目的: 確認training (トレーニング)

もしも、こんな状況に見舞われたという際に、どのような行動、意思決定をするのか洗い出すとともに、どんな情報、資源がどのタイミングで必要なのかを確認し、事業継続計画を作成します。

5. シミュレーションを通じた課題整理、対応能力の検証:

目的: 検証exercise(エクササイズ)

検討した計画に対して、もしも、こんな状況に見舞われたという際に、現状の対応能力がどの程度か検証し、課題を含めて、今後、どのように発展的に改善していくか検討します。

【経営者向け事業継続(BC)プログラム】3時間×5回シリーズは、各企業、団体に出向いて実施しております。

お気軽に、お問い合わせください。

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町10-2 日本橋フジビル (地下1階)

TEL 03 (6365) 0281 FAX 03 (6365) 0282